

2007 年度前期 専攻教育改善委員会 (FD 研修会) 議事録

1. 開催日時：平成 19 年 9 月 27 日 (木) 15:00-17:00
2. 開催場所：S2 棟 3F 会議室
3. 出席者：安原一哉，横山功一，小柳武和，三村信男，沼尾達弥，井上凉介，金利昭，山田稔，小峯秀雄，横木裕宗，寺内美紀子，原田隆郎，桑原祐史，信岡尚道，村上哲，仁平政一 (非常勤教員)，田名部菊次郎，木村亨 (以上，技術職員)，石川比奈子 (学科事務職員)

(順不同,敬称略)

1. 構造工学特論 (呉)

- ・授業履修者は 3 名で、博士課程の学生が別に履修をしている。

2. 沿岸環境形成工学特論 (横木)

- ・説明は日本語/資料は英語で授業をおこなっている。
- ・途中で取りとめの学生は少ない

3. 地盤数値解析学特論 (村上)

- ・資料は Web でダウンロードできるように。
- ・課題は 4 回を課している。レポートで成績を採点

4. 景観設計特論 (小柳)

- ・景観工学の復習と、課題設定による授業。課題発表を取り込んでいる。

< 議論内容 >

- ・ハードとソフトの違いによる授業に関わる差はあるか？ 特に無い。

5. 土木材料工学特論 (沼尾)

- ・受講者がもう少し少なければ良いのだが？
- ・課題発表を盛り込んで成績評価をおこなっている。
- ・最終アンケートではほぼ良い評価を得ている。

< 議論内容 >

- ・計画系の学生が履修すると、内容を一般化する必要性が生じる。
- ・英語で授業をすると、科目を学習しているのか英語を学習しているのか分からなくなる。
- ・学年で授業の趣旨を変えて (基礎 専門性の高いもの) みてはどうか？
- ・コース制にするか、それとも専門性を特化するか？

6. 土質力学特論 (小峯)

- ・実務的な内容を理論に付与して教えている。
- ・地質学の内容や材料劣化の問題を扱い、土と地盤を主題とした学術論文を選んで発表の上、評価してもらう。
- ・言葉の問題。資料と説明は半分ずつ (英語と日本語) 行った。

< 議論内容 >

- ・地盤研の学生には、化学など違う分野の論文を読むように促し、研究室以外の学生との不公平感を無くすようにした。

7. 社会基盤情報処理特論 (原田)

- ・演習日を授業回数にカウントしている。

- ・授業内容は、ソフトコンピューティング（ニューラル・遺伝的アルゴリズムなど）を扱い、学部の基礎授業は無い内容を行っている。

8. 国土空間情報特論（桑原）

2007.9.27

- ・資料保存は学部と同じように保存する。
- ・11月に第1次の情報集約が行われるが、証拠資料の要求内容は確定していない。準備するとなると、平成16年度からの資料が必要となる。
- ・学部の方針はどのようにになっているのか不明。

大学院における特別研究と特別演習の内容

各研究グループより、別途資料を用いて報告が行われた。

< 議論内容 >

単位の実質化を目指す。

特別研究 ・ と演習 ・ の評価基準内容をどうするのか、ということが今後の課題。

大学院の向上に向けて何が必要か？